

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (北広島町立千代田中学校)

- ① 教科等 外国語科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 Unit 2 グリーン先生の初授業 Part 1 自己紹介をしよう
- ④ 本時の目標 まとまりのある文について考え、自己紹介文を作成する。
- ⑤ 学習の流れ (3時間目/全9時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (観点) (評価方法)
1 あいさつをする。(Q&A) 2 単語練習をする。(単語インプット) 3 前時の復習をする。(ドリル学習) 4 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日, 日付, 天気を聞いて, 和やかな雰囲気をつくる。 ・5問テスト I (like) yakiniku. 	
まとまりのある文のポイントを見つけ、自己紹介文 (5文以上) を書こう。		
5 まとまりのある文について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の自己紹介をする。 ①I'm from Tokyo. ②I play basketball. ③I like English, too. ④I'm Maki Takaoka. ⑤But I don't play volleyball. ⑥I like Okonomiyaki. 	<p>(Hello, everyone.) I'm Maki Takaoka. I'm from Tokyo. I like Okonomiyaki. I like English, too. I play basketball. But I don't play volleyball.</p>
6 教師の紹介文から受けた印象を述べる。	<ul style="list-style-type: none"> ☆わかりづらい ☆ぐちゃぐちゃ 	
7 聞く人により伝わりやすくなるための順番を考える。 個人思考	<ul style="list-style-type: none"> ・次の点を確認する。 	
8 班で話し合い、一つの意見にまとめる。 集団思考	<ul style="list-style-type: none"> ◇班長が司会, 副班長が記録をする。 ◇個人の考えを持ち寄り, 班の意見として非一つにまとめる。 ◇理由 (根拠) を付けて分かりやすく伝える。 	
9 発表する。		
10 ポイントの確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある文にするためのポイントを示す。 <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ①名前, 出身地は最初述べる。 ②文のつながりを意識する。(~, tooやbutなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な表現を用いて, 文と文のつながりなどに注意して文を書くことができる。 [外国語表現の能力] (自己紹介文)
11 表現活動をする。 個人思考	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを意識して, 自己紹介文を書くよう指示する。(机間指導) 	
12 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに本時の振り返りをさせる。(今日の授業でわかったことや疑問に思ったことなどを書かせる。) 	

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自己紹介文を、聞く人により伝わりやすい順番に並べ替え、その順番にした根拠を分かりやすく説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 思考の場面で小グループ活動を取り入れ、個人思考→集団思考→個人思考の流れをつくり、主体的かつ課題解決的な学習になるように授業を構成し、本時のめあてにせまる。